

Qualifying &
Life Member



MDRT®

オフィス **ASADA**

代表 麻田 春江

茨城県取手市井野台 1-7-28 〒302-0015

T E L : 0297-72-2401 FAX : 0297-72-6217

携 帯 : 090-8720-8591

E-mail : officeasada_h@ybb.ne.jp

U R L : http://www.officeasada.com



平成 27 年 2 月 第 51 号

オフィスASADA通信のご案内

立春も過ぎ、春の訪れを待ちわびる今日この頃です。北の大地、北海道では「第 66 回さっぽろ雪まつり」が盛大に開催されました。時を同じくしてNHK 朝ドラの「マッサン」の舞台も札幌の北、余市です。また今月 2 月 14 日はバレンタインデーです。私は北の大地、帯広の「六花亭ビタースイートチョコレート」を皆さまに召し上がって頂きたいと同封いたしました。とっても美味しいチョコレートです。どうぞお召し上がり下さい！！

今月のテーマ

- I 第 12 回「ASADA セミナー」の報告と次回予告
- II 高視聴率 NHK 連続ドラマ「マッサン」の真実の姿



I 「ASADA セミナー」の報告と次回予告

平成 27 年 1 月 25 日(日)取手福祉会館にて「第 12 回 ASADA セミナー」を開催しました。第一部は、普段何気なく喋っている「言葉のくせ」から人生を成功に導いたり、逆に「言葉のくせ」が思い通りにいかない人生を作っていたなんて事もあります。知って！気付いて！良い口ぐせを使いましょう！との内容でした。第二部では、日本易学連合会の上島副理事長から「平成 27 年の運勢を観る」と「日常生活の陰陽五行説」を教えていただきました。

次回は 3 月 29 日 (日)

受付時間: 13:00~

開催時間: 13:30~16:00

会 場: 取手福祉会館 2 階小ホール

住 所: 取手市東 1-1-5

電 話: 0297-73-5671

申し込み先: オフィス ASADA

TEL: 0297-72-2401 または 090-8720-8591



第 13 回 ASADA セミナー 2 周年記念 感謝祭！

第一部 いつまでも若々しく老けない生き方

「人生を好転させる良い口ぐせを育む」 講師: 麻田 春江

第二部 白木ゆう子シャンソンコンサート ASADA セミナー友情出演

「シャンソン歌手・白木ゆう子さんが友情出演！」

巡り逢い、100 万本のバラ、愛の贈りもの、アドロ、雨の御堂筋、NHK「マッサン」麦の唄、上を向いて歩こう など

大抽選会 (参加者全員に豪華プレゼント) もありますので、是非お越しください！



II 高視聴率NHK連続ドラマ「マッサン」の真実の姿

「日本のウイスキーの父」「キング・オブ・ブレンダー」と呼ばれた竹鶴政孝のことである。

日本初の本格的ウイスキーを作り、その後ニッカウキスキーの創業者となった。“ミスター・ジャパニーズ・ウイスキー”の異名を欲しいままにした人物である。政孝は大正期、日本初のスコットランド流の本格ウイスキー作りを志し、会社の名を受けて20代で単身渡英、本場のスコットランドで手探りのウイスキー修業の末、スコッチの製法を日本に持ち帰った。この時、彼に付き添って来日し生涯の伴侶として政孝を支え続けたのが、スコットランド人のリタ夫人である。スコットランド・グラスゴー郊外に暮らす医師の娘であった。



竹鶴政孝 政孝の妻リタ



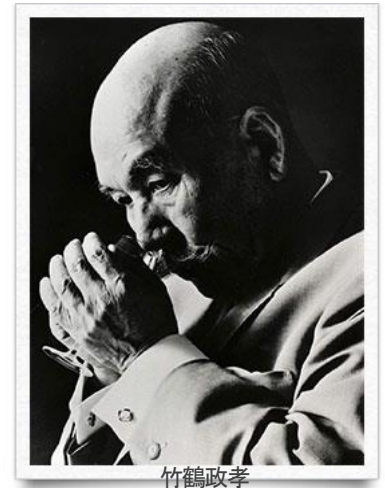
余市蒸留所

日本に帰国した政孝は寿屋（現サントリー）に就職し、日本初のウイスキー工場を京都の山崎に建設。その後、昭和9年（1934年）に独立し、大日本果汁株式会社（現ニッカウキスキー株式会社）を設立。北海道余市に念願だった蒸留所を作った。

ウイスキーの貯蔵庫はブレンダーである政孝にとって静かな戦場であった。黙っていても熟成が進む原酒は、一見手のかからない子どものようだがとんでもない。一樽一樽耳を澄まし、声にならない声を聞き分けてやらねばならない。やんちゃなの

か、大人しいのかそれとも……。原酒を混ぜ合わせてウイスキーを作るブレンダーの仕事は、樽ごとの個性を知るところから始まるのだ。「天使の取り分」という言葉がある。樽に詰めた原酒は時間の経過とともに目減りする。これは気化した原酒が外気に逃げる物理的現象にすぎない。ところが目減りするほど逆にうま味は増す。「天使の取り分」はうま味を施す聖なるもの、「神への感謝」を表現する言葉だ。そして神と人を仲立ちするのがまさに原酒なのである。政孝は「原酒だけがウイスキー会社の生命なのである」と言い切る。竹鶴政孝が前人未到の偉業を果たし、ウイスキーのために人生を捧げる事ができた背景には何があったのか政孝語録から探ってみた。

- スコットランドで留学していた頃、どんな小さなことでも絵に描いてその説明をノートにつけていた。この記録が日本初のウイスキー作りの原点になった。
- ウイスキー作りは体で覚えるものと実地主義だった。スコットランドの修業と仕事に取り組む懸命さによって門外不出の秘密を指導してもらえたこと。懸命さは人を動かす、動かされる人も懸命に生きているからだ。よそ者も身内も関係ない。
- 経営者として政孝が目指したのは「良いものを作れば消費者に理解される」というものづくりの本質だ。
- ウイスキー作りに精進できたのは恩人たちが運命の扉を次々と開けてくれたからだ。
- やってみようという好奇心が運命を切り拓いた。



竹鶴政孝

「政孝さんの夢は日本で本当のウイスキーを作ることですね。私もその夢とともに生きお手伝いしたいです」竹鶴政孝の妻リタが言った言葉だ。スコットランドでホームシックになった政孝を救い、異国の地、日本に渡り日本人以上に日本人になろうと努力し政孝とともに日本に本格的ウイスキーをもたらしたリタは政孝にとって最大の恩人である。人生のすべてをウイスキー作りに捧げた男。竹鶴政孝の強い情熱が人を引き寄せ周りの人々にも大きな影響を与えた軌跡である。折しも今年に政孝生誕120年。ニッカウキスキー80周年である。（現アサヒグループHD）

ちなみに余市蒸留所は「2014年行って良かった工場見学」のNo.1に選ばれ、この厳寒の中でも見学者で賑わっている。余市は小樽の西、積丹半島の付け根の町に位置する。気候や風景がスコットランドと似ており、特に朝夕の感じがそっくりなのである。運命の糸が政孝とリタをこの地に引き寄せたと思わざるを得ない！

***** ダイエット 食費以上に 金かけて ***** サラリーマン川柳より

解らないことがありましたら麻田まで気兼ねなくお電話ください